

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1324
施設名	亀が岡りりおっこ保育園
施設所在地	東京都葛飾区東金町2-6-19
法人名	社会福祉法人東中川会

1. 活動のテーマ

紙飛行機

<テーマの設定理由>

自由遊びの際に折り紙を出して遊んだところ、紙飛行機を折りたがり、何度も飛ばして楽しむ姿がみられた。紙飛行機を飛ばすことが大好きなクラスで、日頃から「これやりたい!」「やってみたい!」と、意欲的な発言が多かった為。

2. 活動スケジュール

- 1回目 やりたい子だけ参加 普通の形の紙飛行機を折る。
- 2回目 ほぼ全員参加で普通の形の紙飛行機を折る。
- 3回目 チラシで折る、おへそ紙飛行機を折る
- 4回目 イカ飛行機を折る 外で飛ばしてみる。
- 5回目以降 すきな形の紙飛行機をおる。テープで貼るなど工夫してみる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

環境設定

折り紙は、好きな色を選べるよう並べて置いておく。折り紙、画用紙、チラシ等、様々な大きさ、素材の紙を用意しておく。

飛ばす際は、広い場所を用意する。(廊下、使っていない保育室、屋上等)

4. 探究活動の実践<活動の内容>



「ここを持ったらよく飛ぶんだよ!」

「いっしょに競争しよう!」

「ここに並んでせーので飛ばそう!」

など、友達同士で創意工夫しながら自分なりの考えを伝えあう姿がみられた。

「遠くまで飛ばしたい!」という思いから真剣なまなざしがみられた。

後半になり、関心の高い子、諦めない子が何度も繰り返しやり続けていた。

保育者が何も言わずとも

「廊下に行っても良い？」等、紙飛行機を飛ばせる広さのある場所を探して動いたり持ち方、折り方を、子ども達なりに工夫していた。

5. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

一回目の飛行機は思ったほど飛ばなかったが、それでも楽しんでやっていた。飛ばないと言いつつも何度もやっていた。最初はこういう風に投げると飛ぶよと話をした。それを聞いてても上手くいかないことも多々あり、飽きてしまう子もいた。何回もやっているうちに持ち方を自分なりに変えたり、投げ方を変えたりと何度でも挑戦しつづける姿が見られた。

楽しんでいる子は、同じ遊びを繰り返しずっとやっても飽きない。飛ばなくても、やり続ける理由は、どうしたら遠くへ飛ばせるかという人の探求心からくるところで、3歳児の頃からその気持ちは芽生えているのだと改めて感じた。

とうきょう すくわく プログラム活動報告書

施設番号	66-1324
施設名	亀が岡りりおっこ保育園
施設所在地	葛飾区東金町2-6-19
法人名	社会福祉法人東中川会

1. 活動のテーマ

音

<テーマの設定理由>

様々なものに興味があり「あれやってみたい」「こうしてみたい」と意見が飛び交うクラスで、昨年度も5歳児クラスが太鼓教室をしているのを楽しみにしていた為。

2. 活動スケジュール

通年週一回 毎週金曜日

初期 太鼓に素手で触れてみる。

様々な技法で打ってみて感触や音の違いを楽しむ。

夏頃 決まったリズムに合わせてみんなで叩く事を楽しむ。

秋～冬 レベルを上げて難しいリズムをみんなで合わせて叩く。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

環境設定

太鼓を叩く際には、バチが当たらないよう広い場所を用意する。（ランチルーム、保育室を広く広げる等）

太鼓だけでなく、練習用の台を購入し、より楽しめるよう設定した。

4. 探究活動の実践<活動の内容>



太鼓教室をはじめた頃は、興味が薄かったり、集中力が続かない様子であった。

練習用の台を購入した事で待つ時間が減り、叩くことを楽しめる時間が増えた。

夏祭りで年長組がみんなの前で発表した後から「たのしい」「もっとかっこよく叩きたい」と意欲的な発言が見られた。どうしたらいい音になるのか、みんなで揃えるにはどうしたら良いのか話し合う姿も多くみられた。

最初の頃は、興味が薄かった子も回数を重ねていくうちに楽しさに気づき「年長組として」「カッコいいところを見せたい」という気持ちから、リズムをとる事が苦手な子も意欲的に取り組む姿勢が感じられた。

5. 振り返り＜振り返りによって得た先生の気づき＞

最初、素手で叩いてみて「面白い」事に気づき、バチを持って、色々なところを叩いて音の違いに気付いていった。回数を重ねていくうちに、「カッコいいところを見せたい」「みんなで揃えたい」と意識が変わっていく様子がみられた。年長組の後半になると、「どうしたらできるか」探求し、友達同士意見を出し合ったり話しあう姿がみられた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1324
施設名	亀が岡りりおっこ保育園
施設所在地	東京都葛飾区東金町 2 - 6 - 19
法人名	社会福祉法人 東中川会

1. 活動のテーマ

自然との関わり

<テーマの設定理由>

園庭遊びでは、砂遊びが好きな子が多く、畑でやさいを育てる事を話すと興味をもち「やってみたい」という声が多くあった為。又、外遊びが好きな子が多く、外での活動をより楽しめるよう自然との関りを、より深めていきたかった為。

2. 活動スケジュール

通年 季節ごとに野菜や花の種類を変えて 収穫

春 チューリップやお花を植える

夏 夏野菜 ピーマン トマト キュウリ

秋 だいこん さつまいも みんなで芋掘り、大根抜きをする

冬 いちごを植える

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

環境設定

畑では、看板を用意し色塗りをしたりして興味がもてるよう環境を設定した。
スコップ、軍手などを十分な数用意しておき、皆で楽しめるよう環境を整えた。

4. 探究活動の実践<活動の内容>



畑をはじめる事を伝えると、最初から興味を持って取り組む子がほとんどであった。
「こんなにとれたよ！」「おおきいでしょ！」と保育者や他のクラスの子にも自慢げに見せる姿があった。 野菜のが採れる時期から「旬」についても少しずつ知り
夏はキュウリ 冬になったらイチゴを育てようね、など季節を感じる発言もみられた。



大きくて抜けない大根は、友だち同士で
協力して抜いたり畑を耕すのもみんなで協力しないと出来ないことに気付いていった。

5. 振り返り＜振り返りによって得た先生の気づき＞

元々、外遊びが好きで自然物が好きな子が多く最初から興味を持って参加する子が多かった。「こんなに大きいのがとれたよ！みて！」と、楽しそうな姿がみられた。給食では、自分たちで収穫した野菜が出ると「自分たちで採った野菜だからおいしい」と、話す様子もあったので食育にもつなげていった。野菜を育てていく中で、土や虫、草花など、様々な自然物に興味をもち探求する姿があり、幼少期に自然の中で育つことで、情緒面の成長や、指先、体幹の発達など、様々な成長につなげていく事が出来たように感じた。

とうきょう すくわく プログラム活動報告書

施設番号	66-1324
施設名	亀が岡りりおっこ保育園
施設所在地	東京都葛飾区東金町 2 - 6 - 19
法人名	社会福祉法人 東中川会

1. 活動のテーマ

体の動かし方

<テーマの設定理由>

子ども達が園庭や公園遊びをする中で、追いかっこやサッカーといった特定の遊びに内容に偏りが見られたため、体を使った遊びの種類を多く知って欲しいと感じた。
また、子ども達が探索活動を行う際に、よじ登る事や這って移動するといった動きを求められるような自然や環境が減少しているように感じた。そのため、様々な体の動かし方を身に着ける事で、遊びの幅や探索活動の方法を広げる事ができると考えた。

2. 活動スケジュール

各クラス通年週1回実施

3歳児クラス：走る、投げるといった基本的な動作

4歳児クラス：うつ伏せから起き上がって走る、サーキット等の複合的・連続的な動作

5歳児クラス：道具を使った運動や、チームでの運動

※4歳・5歳児のクラスの内容は前年クラスの内容を発展させた活動も含めて行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

専門講師による教室を実施する事で、正しい姿勢や身体の動かし方を知る事ができるようにした。体育教室で行った事を外遊びの時間などにやって見る事で、教室の内容を振り返ったり、発展させられるようにした。

雨の日でも十分に体を動かせるように、室内でも広く場所を確保するようにした。

4. 探究活動の実践<活動の内容>

様々な身体活動を通して、体の動かし方を楽しみながら学んだ。

外部の専門講師を招いて毎週体育教室を実施した。

マットや鉄棒などの器具を使いながら職員や講師のサポートのもと、運動やゲームを行い日常生活では行わない動きを行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

楽しみながら体を動かしていた。送迎の際に「今日は体育教室だったんだ」と嬉しそうに活動内容やできた事を保護者に伝える姿が見られた。

難しい動きをする時には、職員や講師に「手伝って」「支えていて」とサポートを求め、できたときには「できたよ!」と見せに来てくれる姿が見られた。教室の時間だけでなく、日常保育の中でも教室で行った動きを見せに来てくれる事も多くあった。



5. 振り返り＜振り返りによって得た先生の気づき＞

体の動かし方という運動機能の発達を見込んでの活動であったが、当初の想定以上に子ども達の心が発達する姿が見られた。例えば、縄跳びを上手に飛べないと悔しがっている子に対して、子ども達同士でコツを教え合ったり、できたときに褒め合ったり競い合う姿が見られた。上手くできた子は、できた事に楽しさと達成感を感じ、成功を確かめるように繰り返して行っていた。こうした姿から「やってみよう」「できた」「楽しい」「もっとやりたい」という、新しい事に楽しく挑戦する気持ちが育まれていると感じた。